

港区立南山幼稚園 概要

港区立南山幼稚園は、麻布十番商店街を六本木方向に進んだ先の左を上がった小高い丘の上にある幼稚園です。今年度で創立 88 周年を迎える歴史ある幼稚園です。港区立南山小学校と同じ敷地内にあり、戸外に出ると、大きく広がる空と敷地内と周辺に広がる緑豊かな環境が特徴となっています。定員は、3 歳児学級 25 名、4 歳児学級 30 名、5 歳児学級 30 名で 1 学年 1 学級で異年齢とも関わるアットホームな幼稚園です。



<南山幼稚園の教育目標>

人権尊重の精神に基づき、幼稚園・家庭及び地域社会の連携を基に、心身ともに健康で、自ら主体的に遊びや生活に取り組み、よく考え、豊かな学びを創り出す幼児を育成するため、次に目標を設定しています。

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子



<屋上での運動遊び>

教育目標達成のため、以下の教育活動を中心にすすめています。

① 戸外遊びの充実

戸外で体を十分に動かす活動が主体的に行われるように、意図的・計画的に発達に応じた運動的な遊びをすすめています。また、四季折々の自然の中で、ちいさな生き物や栽培物に触れる機会を作り、関わることを楽しめるようにしています。



<オタマジャクシを見つけて>

② 幼稚園と小学校の連携

南山小学校との連携、交流を深めています。『南山幼小連携カリキュラム』に基づき、小学校との接続を図るとともに、幼児と児童が自然に関わる姿、幼児が小学生の姿を見ることを大切にしています。また、都立六本木高校と「畑でサツマイモをつくる交流」を行う他、六本木アカデミーとして港区立六本木中学校、港区立麻布小学校・幼稚園、港区立東町小学校とともに、幼、小・中一貫教育を進めるために教員の研修を行っています。

③ 地域との連携

麻布十番商店街や麻布いきいきプラザとの交流では、子どもたちが作ったこいのぼりや七夕飾り等を届け、交流をしています。

また、地域の方々に、子どもたちの活動に対しても支援（味噌造り、コマ回し、盆踊りを教わるなど）をいただいています。



<こいのぼりを飾っていただきました>



<子どもたちと味噌造り>

<幼稚園の生活>

・8時45分登園、14時降園（学年により5分ずつの時差はあります）

月に1~2度、弁当なしの午前保育があります。

・弁当持参

・サポート保育（預かり保育）があります。

○親子で体を動かす「親子運動会」、劇など表現活動を見ていただく「生活発表会」は、土曜日に開催しています。

○歌や楽器を披露する音楽会、親子で一日楽しむ「南山まつり」もあります。

◎遊びや生活の中で主体性を育てることを重視しています。幼児が選び、進んで取り組む遊びの中で、思いを表したり、考えたことを実現したりする過程を大事にしています。

◎自分たちで選んで行動する遊びの時間と、学級全体で行う活動があります。学級では、発達に応じて運動遊び、音楽的な活動、絵画製作等の活動などを行なっています。

また、個人で取り組む課題活動もあります。

◎行事では、遠足、季節の伝統行事、親子活動、保育参加、参観・懇談会、安全指導、避難訓練等があります。

*子育てサポート保育(預かり保育)は、降園後、16時30分まで(令和4年度)預かります。

サポート保育では、家庭的な雰囲気の中で、担任ではなく、サポート保育の教員と異年齢の子どもたちと過ごします。サポート保育の部屋では、休息をとり、おやつを食べ、遊びます。

幼稚園休園日、行事、研修日等を除く月曜から金曜日に実施します。

幼稚園入園までの手続き

・昨年度は、11月上旬の広報「みなと」に手続等が掲載されました。

その後、幼稚園や区役所等で入園申込書の配布があります。また、区役所のホームページからダウンロードもできます。

・11月の下旬には、申し込み期間が数日あり、幼稚園または、港区役所で受け付けます。

その後、募集人数と申し込み人数の割合で、抽選となる場合があります。

・12月に新入園児健康診断を行い、1月上旬に入園決定をします。

<入園後の諸経費>

・幼稚園保育料は、無料ですが、子育てサポート保育量は、所得・世帯状況に応じた階層区分により決定する保育料がかかります。

・その他、教材代、PTA会費、制服(園服、園帽、カバン)代等がかかる場合があります。



◎入園に関することや施設見学、不明な点については、お問い合わせください。

港区立南山幼稚園 電話03(3408)4785 平日9時30分~16時30分